

高速回線避雷ユニット

2005. 3 制定

仕様書

2023. 9 改訂

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 概要                         | 本装置は、並列及び直列素子の複合多段構成によるサージエネルギー減衰方式の避雷ユニットで、電源回線に設置し、電源線及び接地線より侵入する雷サージ(JIS C 5381-11 クラス I, II 対応)から負荷設備を保護するものです。本装置の稼動状態をランプ表示及び接点出力します。  |
| 品名                         | 高速回線避雷ユニット   |
| 型名                         | ALPK-VAJ2P(60200)  |
| 試験クラス                      | クラス I 及びクラス II   |
| 方式                         | サージエネルギー減衰方式   |
| 適用回線                       | 1φ2W(TT 系統), AC200V, 60A(12kVA) 電源回線   |
| 最大連続使用電圧(Uc)               | AC260V   |
| 定格負荷電流(I <sub>L</sub> )    | 60A  |
| 電圧降下                       | 0. 5V以下  |
| 挿入損失                       | 35VA以下   |
| インパルス電流(I <sub>imp</sub> ) | 25kA/50kA (10/350μs)   |
| 公称放電電流(I <sub>n</sub> )    | 25kA (8/20μs)  |
| 最大放電電流(I <sub>max</sub> )  | 40kA (8/20μs)  |
| 防護モード                      | L-L(ライン-ライン) L-E(ライン-接地) L-N(ライン-中性線)  |
| 電圧防護レベル(U <sub>p</sub> )   | 全防護モード: 1. 5kV以下<br>※公称放電電流(I <sub>n</sub> )にて   |
| 残留サージエネルギー                 | 全防護モード: 6mJ以下<br>※公称放電電流(I <sub>n</sub> )にて  |
| サージエネルギー減衰量                | 全防護モード: -58dB以上<br>※公称放電電流(I <sub>n</sub> )にて  |
| 動作速度                       | 3nsec. 以下  |
| 続流遮断定格                     | 50kA   |
| 状態表示出力                     | 表示 稼動状態をランプ表示<br>扉部: 通電中, 異常 盤内: アルファ故障, 分離器動作<br>出力 異常状態(アルファ故障, 分離器動作)を無電圧 a 接点出力<br>接点定格: DC30V, 2A 以下<br>警報 異常発生時(アルファ故障, 分離器動作)に警報ブザー出力 |
| 動作カウンタ                     | 雷サージによる本装置の動作をカウント表示及び接点出力   |
| 絶縁抵抗                       | DC500V, 50MΩ以上(入出力端子一括~フレーム間)  |
| 絶縁耐力                       | AC2200V, 1分間(入出力端子一括~フレーム間)  |
| 使用環境                       | 温度 -40~+70℃ 湿度 95%以下(但し結露なきこと)   |
| 外形寸法                       | W500×H900×D250(mm)   |
| 重量                         | 約42kg  |
| 分離器                        | 内蔵   |